

スローライフだより 84

~Think globally, act locally~

第84号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1

TEL/FAX 0985-62-4233

<http://www.slow-life.or.jp>



10月10日(金) 第26回 めがね供養祭



行事報告

8月	25日	めがね供養祭第1回実行委員会
9月	9日	令和7年度第4回役員会
	26日	生目小学校5年生学習田稲刈り
	29日	めがね供養祭第2回実行委員会
10月	10日	めがね供養祭



生目の杜運動公園 ボランティア斉清掃のお知らせ

日 時: 令和7年11月3日(月) 午前8:30~

集合場所: アイビースタジアム正面玄関前

ごみ拾い 小雨決行(事前申し込み不要です)

幼稚園は狭き門



戸田 淳子

「すみませんが明日の練習に行けなくなったので会計の当番を代わって貰えませんか？」所属している卓球仲間の松田さん（仮名）からメールが入った。

公民館の卓球サークルに入って3年。松田さんは会計担当で、私はサブである。

聞くとところによると幼稚園の入園試験だと言う。

松田さんは60代、近くに娘さん一家が住んでいて幼いお孫さんが二人。娘さんは都心にお勤めらしい。

お孫さんの風邪や予防注射の際は娘さんからSOSが入り時々今回のような依頼が私に来る。働く女性にとって祖母のサポートは頼みの綱である。

「困った時はお互い様よ。どうぞ会計は引き受けたわ！安心して行ってらっしゃい」と返信した。

翌週、松田さんはサークルに顔を見せた。

「入園試験はうまくいったの？」

「うちの子は男の子だからずっと私のそばを離れないで仲間入りできないの」と松田さんは顔を曇らせる。

「男の子は皆動かないの？」と聞くと

「皆でじゃれ合って騒ぐ子も居るには居るわ」と言う

「女の子は怎なの？」

「女の子は活発よ。スッと仲間に入って皆で駆け回って遊んでいたわ」「皆と一緒に遊べないと入園させて貰えないのよ」と松田さんは益々表情を暗くした。

そして途方に暮れたような表情になり、「中には手が付けられないほど吠える子がいてうちの子は怯えっ放しよ」と言った。

「吠える？どうやって吠えるの？」

「大声でキャン キャンと、それは、それはうるさいのよ」

ここでようやく気がついた。

人間ではなくて犬の事だったのだ！犬にも幼稚園があるなんて知らなかった！

最近のペット事情の変わりようには驚いた。

そういえば毎夕私のウォーキングの途上ですれ違うワンちゃん達は、男の子はドジャーズやヤンキースの野球帽を被り、女の子はフリフリの帽子にピンクのスカートをはいて飼い主さんの脇を優雅に歩いている。昭和の頃の犬の散歩風景を思うと隔世の感がある。

今は核家族が多く遠くに住む孫には滅多に会えない。孫にかけける愛情を犬や猫に注ぐ気持ちも解らないでもない。

人は常に誰かを愛していなければ生きてゆけないものなのかも知れない。

ある調査によると、いつの頃からか愛玩動物を飼うという概念を超えてペットの家族化という社会的現象が起きているらしい。

デパートには愛犬用のおせちの希望が多くて、イオンは2008年からペット用のクリスマスケーキ、年越しそば、おせちを発売、昨年は一万円超の懷石料理もよく売れたらしい。毎年2割増しのペースで売り上げが伸びている由。

同じ地球に住む仲間としてあらゆる動物が大切に扱われることは喜ばしいことである。

遙か昔、生類憐みの令を発布した江戸幕府の第五代将軍綱吉公は「やっと生き物を大切にする時代になったな」とあの世で喜んでおられるに違いない。



第26回めがね供養祭



1687本のめがねが集まりその中で利用可能なめがね1040本を宮崎市内ライオンズクラブ幹事会に贈呈致しました。



10月10日（金）生目神社にてめがね供養祭を行いました。

生目地区の回覧版でお知らせをしたり、宮崎市内のめがね店などに協力をお願いし、今年度もたくさんのめがねが集まりました。

生目神社にも毎年たくさんのめがねが届いています。あつまっためがねは全て供養して、その中で使用できるものは汚れを拭きとり、きれいにしてひとつずつ袋に入れていきます。

供養されたメガネは宮崎ライオンズクラブ幹事会を通じて開発途上国に贈られます。

昨年、NHKの全国放送でめがね供養祭のニュースを見られた方からメールを頂きました。亡くなられたお兄様の商売遺品を活用いただきたいと今年9月にたくさんのめがねを千葉から送って頂きました。

今年も宮崎のテレビ局から取材に来て頂きました。また、たくさんの方の目にとまりめがね供養祭が皆さんに周知されることを望みます。



生目小5年生 学習田



6月5日に5年生と田植えを行ったお米を9月26日に手刈りとコンバインを使って収穫しました。

暑い中での稲刈りになりましたが、生徒さんは元気に稲を刈っていました。生徒さんからは、泥だらけになるのは嫌だなあと稲刈りが始まる前は思いましたが、稲を刈るのは楽しかったなどの感想を頂きました。

今年は台風の被害もなくおいしいお米が収穫できました。

（収穫量・・・白米415kg＋玄米30kg）



生目の杜運動公園円形花壇



今年もいつまでも日中は暑い日が続き、花壇の雑草が勢いよく伸びていました。雑草を取り除く作業や花壇の水やり作業が暑い中での作業になりましたが花壇の方々に頑張って頂きました。公園に来て下さる方が花壇を見て癒されるように常に管理をして頂いています。



第4生き生き市民農園が開園しました！

令和7年9月1日に第3農園の隣に新しく第4市民農園を開園しました。これは第3農園の近隣にあるJAみやざき様が運営されている農園が、令和7年12月で閉園されるということで、JAみやざきさんの農園で利用されている方が引き続き作物を作りたいとの声を受けて開園いたしました。



10月～1月の予定

11月 3日	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
13日	生き生き市民農園収穫祭
12月 上旬	生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
1月 25日	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃



委託業務関係

11月～1月	駐車場料金徴収員会議	スローライフ事務所
毎月第1火曜日	花壇管理者会議	スローライフ事務所
毎月第3火曜日	土、日、祝日、キャンプ期間中	駐車場料金収納・送迎車両受付
※ 駐 車 場		(10:00～18:00)
※ 花 壇 管 理	随 時	

お便り大募集！ 85号(1月発行予定)、86号(4月発行予定)

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしています。

(TEL/FAX 0985-62-4233)



編集後記



佐渡の民話「鶴の恩返し」の話はほとんどの人がご存知だと思います。小さい頃は紙芝居で、そのあと2度私は木下順二作の戯曲「夕鶴」を鑑賞したことがあります。1度目は高校生の頃、生徒会主催で生徒達自身で行った宮崎市民会館での「夕鶴」の演劇鑑賞。同世代のほとんど経験したこともない素人集団が、一生懸命「夕鶴」を演じる姿に感動したのを覚えています。2度目は日向学院中高等学校のドンボスコ記念館で上演された山本安英さんの「夕鶴」。その頃は山本安英さんがどういう人かは全く知らないままキャシャで今にも折れそうな身体でもの静かな山本さんをアッシー君としてオンボロ車で宮崎市内を案内したことがあります。記憶が定かではないのですがスタッフは山本さんを入れて3～4名だったと思っています。照明や音響で舞台効果をだし少ないスタッフ2名での芝居だったような気がします。〈つう〉の織る布は高く売れるので〈与ひょう〉は〈つう〉にもう一度あの布を織ってほしいとたのみます。布を織るのは最後だと約束したはずと断ります。私欲におぼれた〈与ひょう〉は布を織ってくれと激しくたのむのです。その時の〈つう〉の言葉「お金・お金・お金」という微妙にいいまわしの異なる台詞を今でもはっきり覚えています。〈つう〉と〈与ひょう〉の住んでいる世界の差異。精神文化＝唯心論から物質文化＝唯物論への移行を民話集から戯曲化した木下順二のこの「夕鶴」の〈つう〉のようなお話はもう現代の人々には通じないのかもしれませんが、今でも鶴の恩返しの話聞いて感動するのはなぜなんだろう！

(長谷川 10月1日)